

回覧

協力隊ニュース

1月号



キノコ×カブトムシ 出展



12月21日、春日原南自治会主催の餅つき大会に平松、伊藤隊員が参加しました。杵と臼を使った昔ながらの餅つきを地域の皆さんと体験し、子どもたちの掛け声も響く中、会場は笑顔と活気に包まれました。



12月19日、年末の農作業として、道の駅おおき南の「くるるん農園」にて、カブトムシの粪を堆肥として散布しました。

つきたてのお餅は、きなこ餅、あんこ餅、お雑煮などにして皆で味わい、会話も弾む中で、地域の伝統や文化に触れ、絆を深める貴重な機会となりました。

昨年に引き続きの取り組みで、資源を循環させる環境にやさしい畑づくりを進めています。

今後は、この畑にスイートコーンを植えていく予定です。



12月19日は、町内の企業や団体の方々をお誘いし、日本酒をきっかけに交流会を企画しました。平松隊員は日本酒が大好きで、過去におでん屋でアルバイトをしていた経験も活かし、全国の日本酒を取り寄せ、それぞれの味や製造方法を語る特技紹介



協力隊Instagramのフォロー
よろしくお願い致します♪

大木町

2026年も引き続き、様々な活動を通じて町の魅力を高め、住みやすい地域づくりに貢献してまいります。皆さまのご支援とご協力を、どうぞよろしくお願ひいたします。